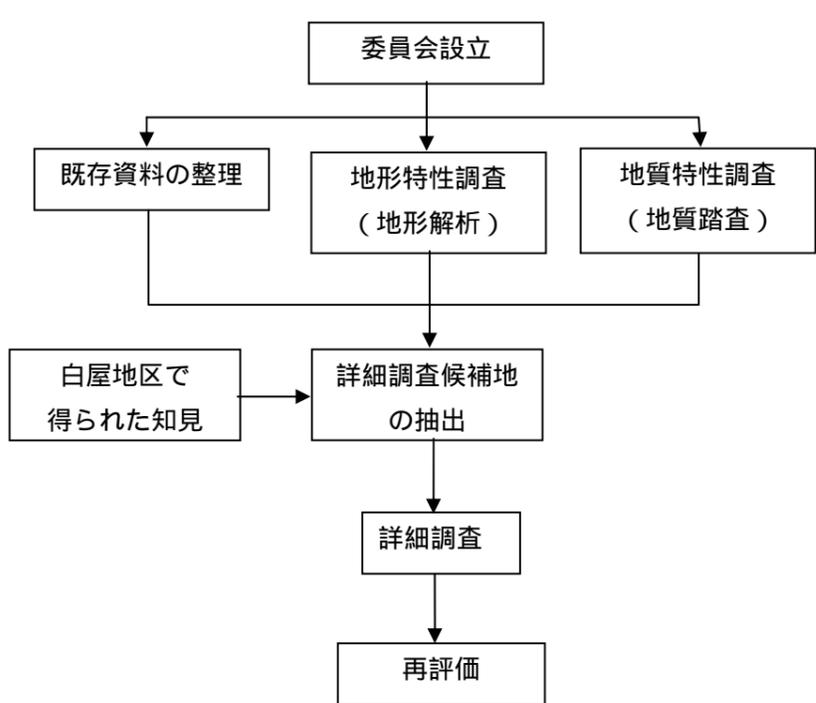


再評価の方針		
事項	要点	備考
1. 基本方針	<p>1) 目的</p> <p>本委員会は、大滝ダム試験湛水中に生じた白屋地区での亀裂現象を踏まえ、白屋地区以外の貯水池斜面において、より詳細な地形・地質調査を実施し、貯水池斜面の再評価を行う。</p> <p>2) 白屋地区で得られた知見</p> <p>「大滝ダム白屋地区亀裂現象対策検討委員会」で指摘された地すべり発生の地形・地質的要因はP17に示したとおりである。</p> <p>これから読み取れる知見としては、以下のように要約される。</p> <p>明瞭な地すべり地形を呈していなくても、地形・地質的要因により岩盤に緩みが生じている場合には、湛水により初生的な地すべりが発生する場合もあるということである。</p> <p>地形・地質的要因としては以下のように読み取れる。</p> <p>地形的特性及び要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高標高部に緩斜面が形成されている</li> <li>・緩斜面背後には地すべり頭部に相当する滑落崖はない</li> </ul> <p>地質的特性及び要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風化・侵食を受けやすい泥質岩の分布</li> <li>・地質構造が川側に傾斜している</li> <li>・すべり面を規制する大規模な断層は確認されていない</li> </ul> <p>緩みの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩盤の深部まで亀裂が発達している</li> <li>・これらには部分的に角礫化・細粒化・粘土化などが認められる</li> </ul> <p>微小変形の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土化が進んだ強風化岩に分類される箇所が複数の深度に分布する</li> <li>・その一部には鏡肌や条痕などが認められる</li> </ul>	
2. 調査計画	<p>1) 地形特性調査</p> <p>斜面の微地形を抽出できるレーザー航測図及び空中写真を用いた地形解析</p> <p>2) 地質特性調査</p> <p>最新の地質学的な知見に基づいた地質構造を明らかにするための地質踏査</p> <p>岩盤内の緩みや地質構造を明らかにするための高品質サンプリング</p>	
3. 検討フロー	<p>図 .3.1 に示すフローにより再評価を実施する。</p>	 <p>図 .3.1 検討フロー</p>